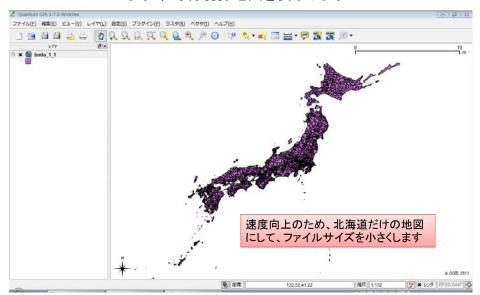
GIS分析演習(初級編:後半)

東京大学 堀口裕正 北海道大学 藤森研司

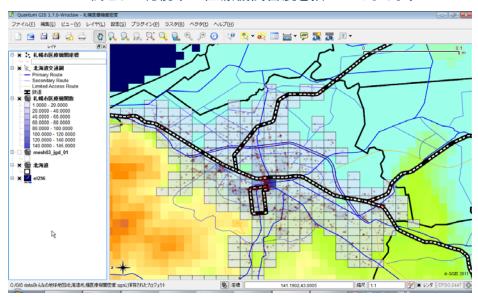


2011.12.3 DPCセミナーin北大

まず市町村境界地図を表示します

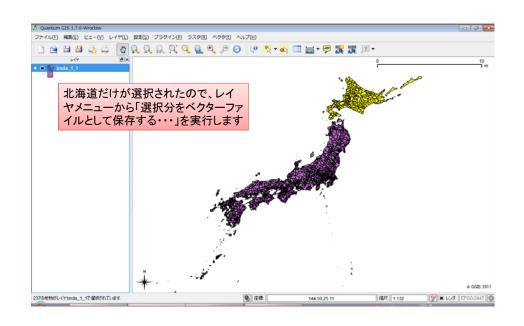


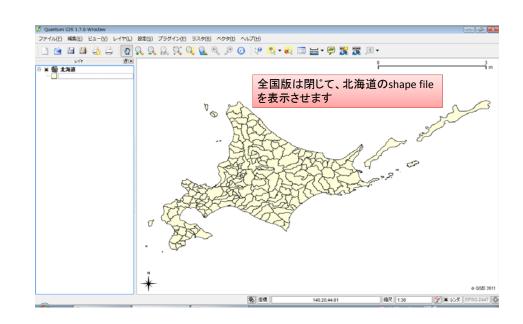
例として札幌市の医療機関密度を描いてみましょう

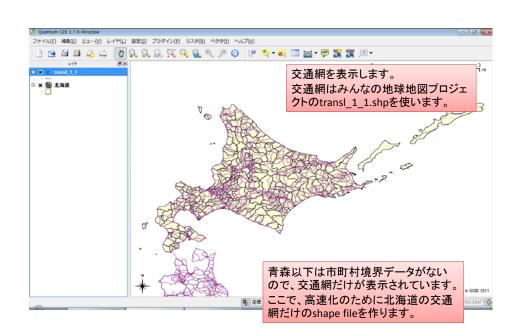


属性テーブルを開き、データを絞り込みます

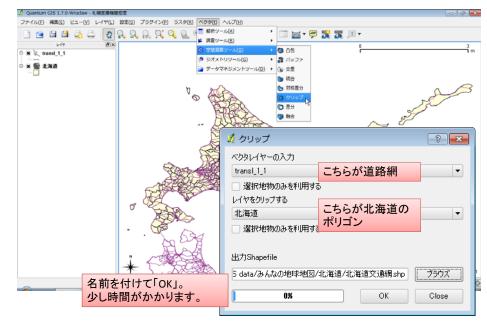


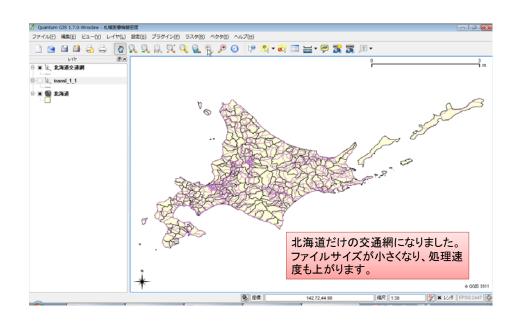




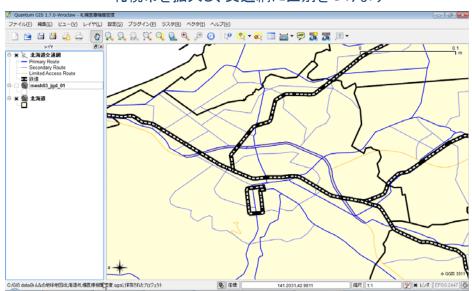


レイヤから必要部分を切り取ります: クリップ

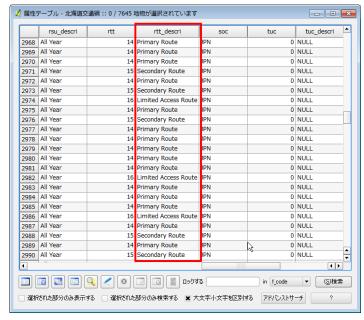


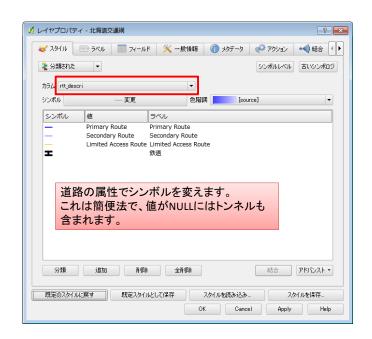


札幌市を拡大し、交诵網に区別をつけます

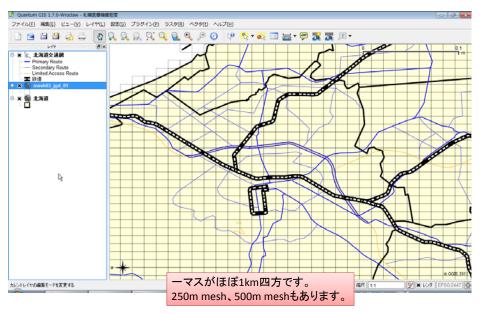


「北海道交通網」の属性テーブルを開いて中身を確認

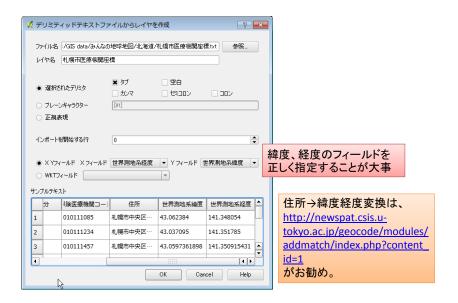


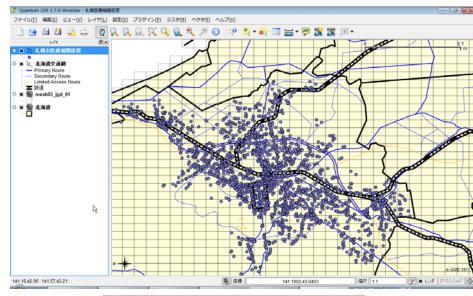


1km meshのベクターファイルを重ねます

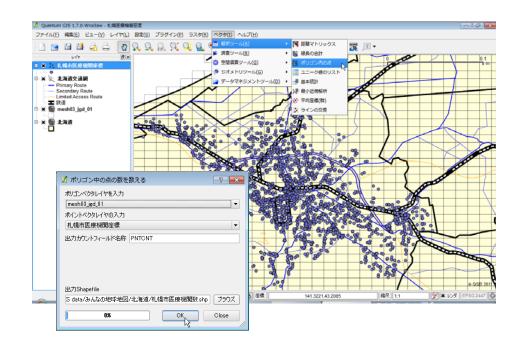


デリミッテドテキストファイルから医療機関のレイヤを作成します

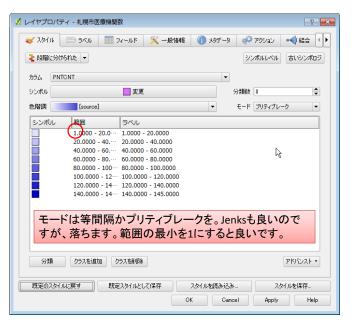




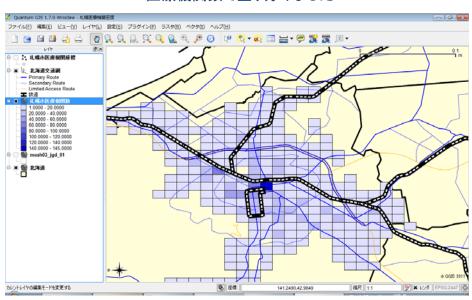
さあ、1km mesh内の医療機関数をカウントしましょう



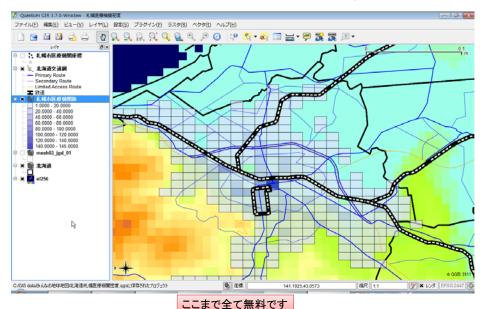
医療機関数で塗り分けします



医療機関数で塗り分けました



標高のラスターデータを加えて、より見栄えをup



ここから先は、

- 郵便番号ポリゴンで描画
 - ▶shape fileが有償です
- 街区ポリゴンで描画
 - ▶無償ですが、場所によって大きさが異なります
 - ▶自分でポリゴンを加工できます
- ポリゴン内人口で割って、患者割合を描画
 - ▶Q-GISでも出来るようですが・・・・
 - ▶dbf fileをExcelで加工する技もあります
 - ▶1k mesh人口は無償で公開
 - ▶500m meshや1km meshの年代別人口は有償